

これまで、これからも。

知多半島地域の精神保健医療福祉を支えていく。

医療法人
共生会
広報誌

共生だより

特集

共生会の未来像

理事長×病院長対談

2025
09

君も生きよ 我も生きん
「ともいき」の精神が導く、
私たちの未来像



● リワークデイケアとは(知多半田こころクリニック)

● 安全でおいしい病院食を届けるために(栄養科)

● クローズアップ! 共生会で働く医師たち

● スタッフ紹介 ～共生会で働く仲間たち～



理事長 田中 毅

病院長 高野 正人

精神科病院として質の高い医療を提供するため、
救急医療や認知症病棟を運営し、地域医療を支える
「最後の砦」として重要な役割を担っている、みどりの
風 南知多病院。医療法人としての今後の未来像を、
理事長と病院長に語ってもらいました。

これまでの歩みと現在地

—まず、みどりの風南知多病院のこ
れまでの変遷についてお聞かせくださ
い。

田中理事長 10年ほど前は269床、
5病棟で運営していましたが、患者様
の動向や地域のニーズの変化に合わせ
て規模を見直してきました。2017
年に5病棟から4病棟へダウンサイジ
ングし、現在は218床で運営してい
ます。一見すると縮小のようですが、
これは戦略的な判断でした。地域移行
機能強化病棟や精神科救急病棟を導
入し、質の高い医療を提供できる体制
を整えることができました。

高野病院長 医療の質という面では、
現在は救急医療、認知症治療、療養
まで幅広くカバーしており、なかでも
精神科救急は地域の拠点病院として県
の輪番制度に参画することにも、地域
連携センターを軸に各病棟と緊密に連
携し、急患への即応体制を整えていま
す。

地域における役割と責任

—精神科医療とは何でしょうか？

田中理事長 精神疾患を抱える患者
様を支え、その人らしい生活ができる
ことを目標とし、専門的知識と技術を
用い、自律性の回復を通して、その人

職員への想い

—病院長として、職員の皆さんにどの
ような想いをお持ちですか？

高野病院長 各セクションで本当に大
変な業務を抱えながら、職員の皆さん
が頑張ってくれています。忙しくバタ
バタする病棟もあれば、手厚いケアに
時間を割かなければならない病棟もあ
ります。そんな中で、皆さんが自分の
やりがいを持ちながら、生き生きと働
いていただけるような職場にしたいと
思っています。職員の笑顔が絶えない
職場であってほしい。それがひいては、
患者様に「ここは居心地がいい」「優
しくしてもらえた」と感じていただけ
ることにつながると 생각합니다。

未来への展望「共生村」構想

—今後の展望についてお聞かせく
ださい。

田中理事長 当法人は、以前結核病
院でした。その当時患者様向けの就労
支援を行っていて精神患者様にも同様
な場所が必要だと考え、100周年と
なる6年後に向けて「共生村」を作り
たいと考えています。山の上に畑があ
り、住む場所があり、働く場所がある
村です。A型やB型の就労支援では対
応しきれない狭間にいる方々にも、社
会との接点を持てる場所を提供したい。

100周年に向けて
—最後に、地域の皆様や職員に向けて
メッセージをお願いします。

単体では経営的に厳しい事業でも、病
院を持つ法人だからこそできることが
あると思います。

田中理事長 6年後の100周年に向
けて、私たちの未来像は決して一人で
は実現できません。職員の皆さん、地
域の医療・介護関係者の皆様と力を合
わせることで、より良い医療の未来を
築いていけると信じています。

高野病院長 職員の皆さんには、日々
本当に感謝しています。それぞれが大
変な業務を抱えながらも、患者様のた
めに、地域のために頑張ってください
ています。私たちが提供する医療が、
患者様や地域の皆様にとってより良い
ものになるよう、そして職員の皆さん
が誇りを持って働けるような病院にし
ていきたいと思っています。

当院のリワークデイケア（復職支援）とは

知多半田こころクリニック リワークデイケア

知多半田こころクリニックでは、うつ病などの気分障害により
休職中の方に、再発予防と復職を目指すための医学的リハビ
リプログラムを実施しています。疾病理解や認知行動療法を
中心としたプログラムや、フィジカルトレーニング、グループワ
ーク等を行い、12週間で一通りのカリキュラムを経験できる
よう構成しています。

利用者実績 **48名**
(2023年10月～2025年8月)

復職支援



リワークデイケアスタッフの皆さん

POINT

当院のリワークデイケアプログラム

- ✓ **医師による講義と指導を実施！**
認知行動療法、疾病管理など、ストレスに対するセルフケア術を
医師から直接学べます。
- ✓ **フィジカルな面にも注目！**
心の病は身体とのバランスが大切です。生活習慣を見直し、
ストレスに立ち向かうための体づくりを行います。
- ✓ **修了後のフォロー！**
復職した後も、月に1回卒業生の為のプログラムを開催しています。

活動報告 「日本うつ病リワーク協会年次大会」に参加して

2025年4月、長野県松本市で開催された日本うつ病リワーク協会年次大会にシンポジ
ストとして参加しました。今大会では「地方都市における持続可能な医療リワーク」をテ
ーマに、院長と私が課題や取り組みを発表し共有しました。長野県の中核都市では都市
部や企業との距離があり、距離を縮めるためネットワークづくりを重要視されているこ
とを知りました。当院は都市とのアクセスが良く、企業との距離に恵まれていることを
改めて実感し、この地の利を活かして行きたいと感じました。（白井）

今後も地域や企業と連携し、復職支援に取り組んで参ります。
詳しくはQRコードより当院ホームページをご覧ください。



安全でおいしい病院食を届けるために

みどりの風 南知多病院 栄養科

当院の栄養科は、病院管理栄養士1名と給食会社
スタッフ約18名で運営しています。入院患者様の
食事は、栄養バランスはもちろん、誤嚥や窒息防
止のための食形態にも細心の注意を払うことで、
患者様一人ひとりの状態に合わせた柔軟な対応
を行っています。また、従来の病院食にありがた
ない「冷たい・まずい」というイメージを払拭するた
め

「おいしい給食」を追求。喫食率向上のため、味付
けや調理方法に工夫を凝らすなど、毎月の給食会
議や年一回の嗜好調査で改善を重ねています。ま
た、職員食についてはご飯はおかわり自由にして
活力源となるような食事提供を心掛けています。
季節行事やイベント食も取り入れ、食事を楽しん
でもらえる環境づくりを続けています。



職員食堂の小鉢



入院患者様向け給食

栄養科



栄養科 柳さん

栄養科の役割 —

当院では、病院専任の管理栄養士1名と、外部給食会社スタッフ約
18名が連携。給食会社は献立作成・調理・配膳を担当し、病院管理
栄養士は病棟との調整、個別栄養管理、外来栄養指導を行います。



- ✓ **栄養管理計画書作成**
- ✓ **栄養指導・食事調整**
- ✓ **給食会議・アンケートの実施**



共生会で働く医師たち

―入職されたきっかけと、地域医療の魅力について教えてください―

研修医時代は名古屋市内で急性期医療を行う病院を中心に回りました。都市部の基幹病院ということもあり、役割が細分化されているため、自身が描く全人的な医療とのギャップで歯痒い想いをすることもありました。全人的な医療において、その人がどのような生活をして、何を抱えて生きているのかを知ることが、精神科医療に限らず重要なことだと考えています。当院では、地域がらもありますが、無意識のうちにそれを実践している職員が多い。当院の患者様に対する向き合い方は、全人的な医療を行う姿勢の表れだと思います。

―研修時代は、他の診療科も経験されていたとお聞きしました―

元々は内科を中心に研修を行っていました。当時から地域医療に興味があり、訪問診療や緩和ケア病棟に入らせていただくこともありました。身体管理が良好でも、抑うつ状態だったり、せん妄などから不穏状態を呈し、転機が不良となる

例を経験し、精神的なケアの重要性を感じ精神科に進むことを決断いたしました。

―プライベートでは映像制作もされているそうですね―

10年ほど前から映像制作を続けています。人の想いを映像で表現することに興味があり、心を動かす映像を作りたいという想いをもとに制作を続けています。「想い」に共感して制作することがほとんどで、ウエディングムービーから地域産業のプロモーションまで幅広く制作しています。企画から撮影、編集までワンストップで行うので、オンオフのバランスをとりながら活動しています。

―医療と映像制作、全く違う分野ですが何か共通点はありますか？―

全人的な医療で患者様に寄り添いたいという医療のスタンスと、依頼者の想いを映像として形にしたいという映像制作のスタンス、僕にとっては大きく変わらなと感じています。目指すゴールは違えど、リスペクトを持って、理解に努め、伴走していく。自分が関わることで、その人の人生が少しでも豊かになると嬉しく思います。



精神科 伊藤 先生

内科研修医を経て、精神科に転科。4年前よりみどりの風 南知多病院に勤務。全人的な医療を志し、日々患者様に寄り添う

伊藤先生の映像作品



スタッフ紹介 共生会で働く仲間たち

看護の本質は「精神」にある

中央病棟 看護師 小澤 さん

入職
2年目

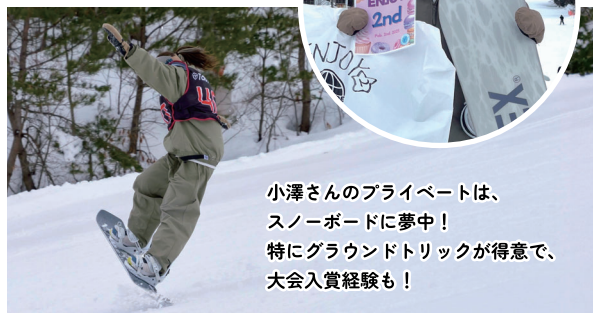
当院へ入職したきっかけ、人のやさしさー

小澤さんは看護専門学校の学生時代から、「看護の本質は精神にある」と考え、精神科での勤務を希望していました。様々な精神科病院を検討する中で、友人からのすすめと、学校に講師として来ていた寺下部長からの「仕事とプライベートの両立が出来る」「人間関係がいい」という言葉が決め手となり、入職を決意されました。実際に

入職してみると、評判通り職場環境は良好で、「働きやすい」と語る小澤さん。医師とのコミュニケーションも取りやすく、相談をした際には、「じっくり聞いてくれアドバイスしてくれます」と話します。

ワークライフバランスのとれる職場環境ー

働きがいもあり、仕事とプライベートも両立できる職場環境があるとの事。趣味であるスノーボードも惜しみなく楽しめているそうです。



小澤さんのプライベートは、スノーボードに夢中！特にグラウンドトリックが得意で、大会入賞経験も！

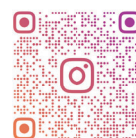


医療法人 共生会

広報誌 共生だより

〒470-3411 愛知県知多郡南知多町大字豊丘字孫廻間 86 番地
TEL 0569-65-1111 (代表) FAX 0569-65-1115

公式 SNS 発信中
フォローをお願いします！



KYOSEIKAI1931